

九州製鉄所八幡地区協力会 2026年度通常総会



八協会だより

発行
九州製鉄所
八幡地区協力会
企画運営委員会



九州製鉄所八協会 二〇二六年度通常総会

（二〇二六年七月十日）

九州製鉄所八協会 会長 船方秀司



皆さま、ご安全に！
ただいまご紹介にあずかりました、八協会会長の日鉄物流の船方でございます。

本日はご多用のところ、八協会総会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。北九州西・東労働基準監督署の皆様、ならびに九州製鉄所関係者の皆様におかれましては、ご臨席を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

また、会員各社の皆様には平素より、安全活動をはじめ、九州製鉄所八幡地区の運営に多大なるご理解とご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、日本製鉄の2025年度決算報告では、これまでの取組みが奏功し、厳しい事業環境の中でも、実力ベースの事業損益として6500億円を確保されたとのこととです。また、2030中期では、国内事業のさらなる強化とグロ

バル成長戦略の推進が掲げられており、日本製鉄グループ全体として、将来に向けた競争力強化の方向性が示されたものと受け止めております。

八幡地区におきましても、電炉化をはじめとした、重要な役割が期待されているものと理解しており、大きな変化の中で、私ども協力会社も、製鉄所の方針に沿った運営を進めることが、これまで以上に求められています。

八協会は、直と協がともに繁栄していくため、安全をはじめ、人材育成やQJ K活動を製鉄所と一体となつて推進する重要な役割を担っております。

特に安全については、昨年、八幡地区として休業災害ゼロを達成することが出来ました。これは、各社の皆様が日々の安全活動に粘り強く取り組まれた成果であり、鉄鋼連盟の安全表彰、さらには日本製鉄の社長賞の受賞にも繋がりました。関係各位のご尽力に、改めて敬意を表します。八協会とし

て継続して来た取組みが安全体質強化に寄与していることは間違いありません。その活動を継承・発展させ、安全最優先の風土を一層強固なものにして参りたいと考えております。

八協会の意義は、各社が互いの知恵と経験を持ち寄り、共通の課題に一体となつて取り組み、ともに発展していくところにあります。各社の自主的な運営を基本としながらも、単独では対応が難しい課題については、八協会の枠組みを通じて知見を共有し、連携して取り組むことで、より大きな成果につなげて参りたいと考えております。各社の皆様には、引き続き積極的なご参画とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員各社のますますのご発展と、本日ご出席の皆様のご健康、ならびに八幡地区の無事故・無災害と一層の発展を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

ご安全に！

ご来賓挨拶

北九州西労働基準監督署
古市署長

ご安全に！
北九州西労働基準監督署長の古市でございます。
本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。

「九州製鉄所八幡地区協力会2026年度通常総会」が大勢の皆様方のご出席のもと、このように盛大に開催されますことを謹んでお慶び申し上げます。

船方会長はじめ九州製鉄所八幡地区協力会の役員並びに会員企業の皆様方には、日頃より労働行政の業務運営に對しまして、多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。この後の議事におきましても、労働災害防止に向けた効果的な事業計画の策定などよろしくお願いいたします。また、「安全衛生活動優秀職場特別表彰」を受賞される皆様方、心よりお祝い申し上げます。日頃の地道な安全衛生活動に敬意を表しますとともに、今後益々精進していただきますようよろしくお願い申し上げます。

今年度の当署管内のトピックスとしまして、特別会員の日本製鉄株式会社様の九州製鉄所八幡地区におきまして、カーボンニュートラルの実現を目指した「高炉プロセスから電炉プロセスへの転換」に関する大規模工事がいよいよ始まりました。また、八幡地区での電炉転換は、八幡地区総面積の約5割を作り変える一大プロジェクトとお聞きしておりますので、会員企業の皆様方にも好循環の影響を受けられることを期待しております。工事関係の事業者の皆様方におかれましては、ぜひとも工期中の「ゼロ災」をお願いいたします。建設業や道路貨物運送事業者に仕事を発注される事

業者の皆様方におかれましては、建設工事関係では適正な工期の設定、物流関係では荷待ち時間の削減等、発注上のご配慮もお願いいたします。さらに、工事費や運賃の適正化にもご配慮いただきますようよろしくお願い申し上げます。

さて、福岡労働局における今年度の主な取組としましては、「持続的な賃金引上げに向けた環境整備」「人材確保支援の強化」「多様な人材の活躍促進と職場環境改善に向けた取組」でございます。近年の物価高騰、資材不足などの不安定な経済情勢、構造的な人口減少、少子高齢化などによる労働力不足等に対しまして、事業者が賃上げを行いやすい環境整備に向けた施策、人材確保支援、高齢者・障害者・外国人等への就職支援、女性活躍推進、仕事と育児・介護の両立支援、安全で健康に働くことができる環境づくり等に向け、労働局、労働基準監督署、ハローワークが一体となつて取り組んでおります。

労働基準監督署といたしましては、最低賃金引上げとあわせて取組として、設備・人への投資等に関する生産性向上や非正規雇用労働者の処遇改善、より高い処遇への労働移動等を通じ、労働市場全体の賃上げを支援する「賃上げ支援助成金パッケージ」の情報提供等を引き続き行っております。また、個人事業者等に対する安全衛生対策の推進、職場のメンタルヘルス対策の推進、高齢者の労働災害防止の推進等、改正労働安全衛生法等に関する周知等を行いながら、あわせて「第14次労働災害防止計画」に基づく取組の推進も行ってまいります。皆様方におかれましては、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

さらに、今週水曜日九州北部地方では、平年より11日早い梅雨明けが発表されました。加えて、梅雨明けから早速熱中症警戒アラートも発表されております。今年の夏は例年以上に厳しい暑さとなる予報も出されていますので、熱中症予防対策につきましても、皆様方、万全を期して取り組んでいただきますようよろしくお願い申し上げます。

九州製鉄所八幡地区協力会の会員企業の皆様方におかれましては、貴会の発足当初から受け継がれてきたレベルの高い安全衛生活動のノウハウをさらにアップデートしていただき、これからも、

近隣地域又は関係企業のレベルアップにご貢献いただくことを期待しております。

結びになりますが、九州製鉄所八幡地区協力会並びに会員企業の皆様方の益々のご発展と、本日の参加の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

ご安全に！

北九州東労働基準監督署
石橋署長

ご安全に！
北九州東労働基準監督署長の石橋と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

九州製鉄所八幡地区協力会2026年度通常総会がこのように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

九州製鉄所八幡地区協力会、並びに会員の皆様方におかれましては、日頃より労働行政に深いご理解と、ご協力をいただいておりますことをこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

また、本日の総会におきまして安全衛生活動優秀職場特別表彰を受賞される皆様、誠にありがとうございます。皆様が長い間、続けてこられた安全衛生活動の取組の成果が実を結び、このような栄誉に輝かれましたこと、心からお祝い申し上げます。安全衛生活動は、職場だけでなく、協力会にも大きく貢献する極めて意義深いものです。今後も、後に続く方々の良き手本として、ますますご活躍を期待しております。

さて、少子高齢化が進展し、生産年齢人口の減少が見込まれる中、多様な人材が安全に、かつ、安心して働け続けられる職場環境を整備するため、令和8年4月1日を中心に段階的に改正労働安全衛生法が施行されました。今回の改正では、個人事業者等に対する安全衛生対策の推進、職場のメンタルヘルス対策の強化、高齢労働者の労働災害防止の取り組みなど、働く人を取り巻く環

境の変化に対応した施策が盛り込まれています。メンタルヘルス対策に関しては、令和10年4月1日から、労働者数50人未満の事業場にも、ストレスチェックが義務化となります。つきましては、貴協力会におかれましては、改正安衛法等の内容について御理解いただくとともに、会員の皆様並びに関連事業場等において適切な対応が図られるよう、周知に御協力くださいますようお願い申し上げます。

製造業・建設業では、労働災害防止に関する多くの資格制度が整備され、安全衛生に対する意識が非常に高い業界です。産業機械は年々進化し、安全装置は高度化しています。さらに、インターネットの普及により、誰もが最新の安全衛生情報、労働災害事例（原因・対策）を入手できる職場環境となっております。しかしながら現実には、危険な作業であることを理解していても、日々変化する現場環境、工程最優先の意識、重層下請構造による責任の分散、そして「慣れ」による危険の見落としなどにより、死亡災害において「墜落・転落」や「はさまれ・巻き込まれ」が最も多く発生しています。

安全は、「ひと手間」ではなく、作業の一部です。重篤な労働災害を防止するためには、形式的な安全にとどまらず、事業者・管理監督者をはじめとする責任ある立場の方々で職責を果たし、現場一人ひとりが主体となつて危険を正しく認識し、声を掛け合い、必要であれば作業を止める勇気を持つことが重要です。こうした取り組みの積み重ねが、安全第一・安全最優先の実践を支え、働く人々の生命と身体を守ることに繋がります。

災害「ゼロ」の実現に向け、貴協力会の縦・横のつながりを存分に活かし、労働災害防止に資する好事例については積極的に取り入れるとともに、改善が必要な事項については速やかに見直しを行うなどが、継続的に取り組んでいただき、情報を共有しながら、安全衛生水準の一層の向上に努められますようお願い申し上げます。

最後に、九州製鉄所八幡地区協力会並びに会員の皆様方のご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。ご安全に！

九州製鉄所 労働・購買部
池田部長

ご安全に。労働・購買部の池田です。

本日は、八協会通常総会の開催、誠にありがとうございます。また、平素より八協会会員各社の皆様には、九州製鉄所八幡地区の生産活動はもちろんのこと、安全・環境・防災、人材育成など、多方面にわたり多大なるご支援・ご協力を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

皆様の高い現場力と専門性、そして日々の誠実な業務遂行があつてこそ、当所の安定操業と品質・納期の確保が実現できております。改めて、会員各社の皆様、ならびに各職場でご尽力いただいている従業員の皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、九州製鉄所を取り巻く事業環境は、国内外の鋼材需要、原燃料価格、為替など、引き続き不透明感の強い状況にあります。

その中で当所は、八幡・大分両地区を一体で運営する「オール九州」の考え方のもと、安定生産、商品競争力の強化、コスト低減、そして将来に向けて電炉へのプロセス転換への対応を進めております。今年度より2030中长期計画の期間に入っておりますが、電炉転換工事をしっかりと進め、2030年の切り替えを円滑に行っていくことが八幡地区の最重要課題であります。それと並行してお願いしたいのは、生産性向上への一層の取り組みです。この中长期期間の後半は電炉対応にかかり切りになることが想定されます。今のうちに生産性向上の検討を進め、実行まで含めて早め早めに取り組むことが求められます。作業の見える化、ムダの排除、多能化、機械化・遠隔化、業務分担の見直しなどを進め、一人ひとりの力を

最大限に活かす職場づくりに、ぜひお力添えをお願いいたします。

安全・環境・防災は事業運営の大前提であることは言うまでもありませんが、適正な取引に資する規律遵守についても、改めてお願い申し上げます。購買取引や工事関連取引は、当社と協力会社の皆様との信頼関係の上に成り立つ、事業運営の根幹です。実態に即した公正で透明性のある取引を行うことは、双方にとって絶対に譲ることのできない基本です。不適正または不自然な依頼、実態を伴わない発注・検収等につながりかねない場面があれば、決して受け入れることなく、疑義がある場合には遠慮なくご相談・ご指摘いただきたいと思います。

八幡地区は、長い歴史の中で培われた技術、技能、現場力、そして協力会社の皆様との強固なパートナーシップによって支えられてきました。これから迎える大きな変化の時代においても、この基盤こそが最大の強みであります。九州製鉄所としても、皆様と率直に対話し、課題を共有し、共に汗をかきながら、より強い八幡地区、より強い九州製鉄所をつくってまいりたいと思います。

結びになりますが、八幡地区協力会のますますのご発展、ならびに本日ご出席の皆様、会員各社の皆様のご健勝とご繁栄を心より祈念申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。ご安全に！

九州製鉄所 安全環境防災部
小林部長

「ご安全に！八協会の皆様方におかれましては、平素より安環防施策に対するご理解とご協力、心

より感謝申し上げます。本年前半を振り返り今後の活動について述べたいと思います。

【2026年前半の安全成績】

本年6月までの九州製鉄所の安全成績は休業災害2件、不休災害30件、軽処置災害15件と、不休以上の度数率は1.3を超過しており社内でも多発している製鉄所と認識しています。統計外の休業も含め、決して良い状況ではありません。地区別に見ても同様の傾向です。さらにクレインヒヤリや交通違反・事故の件数が多いという特徴があります。軽処置が少なく不休が多いことについては、従来なら軽処置だったものが若返り等により不休に至ったと考えていますが、改めて、今後、酷暑を迎えることも踏まえ、軽度な事象であつても躊躇せずに救急行動を取るようお願いをしておきます。

【災害傾向と今後の取組】

災害の内容については、6則をはじめとする重篤なルール不遵守に起因する事案が従前に比べ減少しています。これは各職場の管理監督者のご指導と愚直に守る作業者の皆さんの賜物と思えます。特に対話をベースとした肚落ちに長く取り組んできた結果が少しずつ現れているものと認識しております、感謝申し上げます。また、安全専任者の配置を昨年10月に見直し、様々な体制変化などもある中においても減少傾向であることは、ルールを守る文化や風土という点では実力向上しつつあるように感じます。ただし所全体では未だに6則違反災害が発生していること等、ルール違反を撲滅できていない訳ではなく、引き続きご指導・ご支援のほどお願い致します。また、前述のとおり、災害件数そのものは増加傾向であることも直視しなければなりません。原因の多くは基本行動に起因し、なかでも転倒・激突が多い点が特徴です。「無理な動作」「一旦の立ち止まり不足」といった視点での改善が必要であり、現状の実態・実力も踏まえ夏季ゼロ災活動では「ルール遵守」「基本行

動の徹底」「熱中症予防」の3点を取り挙げました。

ルール遵守については、重篤な災害につながる6則を中心に「守れない作業の抽出（特例許可されしていない作業の抽出）」「特例許可条件（手順）の具体性確認と実作業との整合性確認」をお願いしています。特に抽出においては「この非稼働処置は面倒かもしれない」「手を出そうと思ったらずる」「足元のバランスを崩すと駆動部に手が届く」といった視点で現場の実態をよく見て頂きたいです。手順の確認においては、守れない手順となっていないか、作業者が肚落ちしているか、という視点での確認をお願い致します。ルールや手順を守り・守らせる⇔守れる手順を作る・見直す、このサイクルがとて大切であり、継続的な改善に取り組んで参りましょう。

基本行動の徹底については、弱点克服活動として自ら決めたことを徹底する、また形骸化回避のために短サイクルで目標を変えるようにお願いしています。特に動作前の確認や6Sといった身近なことから基本行動の改善に取り組んで参りましょう。

【結びに】

今年はエルニーニョが発生し、従来の常識では冷夏となるはずですが、地球温暖化や偏西風の蛇行、海面水温の上昇が重なり、高温傾向と見込まれています。今後はこれが新常态になるかもしれません。現場で働く方々にとっては非常に厳しく、また過去の例を見ても安環防トラブルが増える季節を迎えます。熱中症対策は当然のこと、まず、私たち管理者が愚直に現場と対話を通じて、基本的な事柄を守ること、また、直協・職場間の境界への配慮、目の行き届きにくい（人通りが薄い）職場への声掛け等に取組みましょう。私たち安全環境防災部も安全で安心して働ける職場作り、また真の九州（八幡・大分）一体運営の実現に向け、安全基準の統一など、全力で取り組んで参ります。引き続きよろしくお願い申し上げます。ご安全に！

九州製鉄所八協会

二〇二六年度 事業計画

1. 基本方針

世界経済は、堅調なインド市場などの光があるものの、中国の供給過剰、米国の保護主義、そして中東の地政学リスクという三重苦を抱え、極めて不確実性の高い展開となつているなか、日本製鉄におかれましては国内生産での厳しい経営環境が続いているものの、高付加価値な「高級鋼」へのシフトを進めるほか、堅調な米国やインドといった成長市場での現地生産を強化し、海外での収益確保により難局の打開を図っています。

九州製鉄所におかれましても、「変化への挑戦」を基本方針とし、全社の3分の1の粗鋼生産量を担う拠点として、「世界最強の大型高炉」と「世界最大の八幡高級鋼電炉」をあわせ持つハイブリッド鉄源による圧倒的なタローバルマザーミルの実現を目指すために「八幡・大分の地区を越えた九州製鉄所二体運営の強化」を加速させようとしています。

八協会もカーボンニュートラルという100年に一度の大変革をチャンスと捉え、九州製鉄所八幡地区と引き続き諸課題を共有し、「オール九州」の精神でそれぞれの持ち場で力を尽くし、それぞれの役割に応じた分担、負荷や成果の共有といった基本的な考え方のもと、一丸となつて変化に果敢に挑戦し、変化をチャンスと捉え自らの成長に向けた取り組みとしたいと考えています。

また、生成AIやDXなどの生産性向上に対する取り組み、安全な職場づくりや、採用・離職対策などの各社共通の課題解決に向け一層の直・協、協・協の連携強化を進めていくため、所の安全部門、労働購買部門と連携を深めながら、各社への情報共有、議論を進めたいと思います。

二方で、足元の状況下では八協会活動そのものの生産性向上も必須だと思われまので、更なるWEB活用等を進めていこうと考えています。

九州製鉄所および会員各社のニーズに合致した八協会の運営を目指していきたく、引き続き皆様からのご支援ご指導を賜りますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。



企画運営委員会
榎本委員長

2. 活動計画

(1) 経営委員会

若年労働者層の減少や働き方改革など会員各社を取り巻く環境が厳しさを増し、また若手の早期育成も大きな課題であり、

経営委員会活動に対するニーズは益々高まってきたと認識しております。そう言った中、研修カリキュラムを更に工夫して、階層別研修や講演など、改善部会及び人材育成部会の活動を展開、また九州製鉄所二体運営強化の視点からの大協会との連携深化等も進めて行きたいと考えております。これまで同様、主管部門はもとより、会員の皆様からのご意見を広く取り入れながら活動を進めてまいりますので、どうかご理解ご協力ならびにご支援をよろしくお願いいたします。

◇改善活動部会活動計画

九州製鉄所八幡地区QJJK活動2026年度スローガン「高めよう団結力！ 発揮しよう総合力！ 新たな挑戦QJJK」および基本方針 ①対話とプロセスを大切に、一人ひとりの力を結集しよう！ ②明るく楽しく、前向きに！目標に向かって二歩前進しよう！のもと、研修参加者の声に耳を傾け、部会員の工夫・努力を通じ「自ら学び行動する人材」を推進して参ります。

◇人材育成部会活動計画

今年度も研修生のみならず、部会員への研修アンケートを実施し、研修内容の充実と円滑を求めて、更なる受講者の皆様の為になる研修を目指してまいります。ご理解の上さらなるご支援、ご協力をお願い致します。



経営委員会
佐伯委員長

(2) 安全衛生委員会

2026年も、中長期的課題について、九州製鉄所安全環境防災部のご意見を仰ぎながら、安全衛生部会企画班メンバーを中心に議論を進めてまいります。初期の目標をきっちり達成する実行計画を策定すると共に、安全・衛生・環境・防災に対する更なるレベル向上を図り、活動の充実に注力して参ります。

◇「令和安全の鬼フォローアップ研修」推進

2021年7月よりスタートした「令和安全の鬼教育」は、2025年2月第15回をもって一旦終講となりましたが、今後、教育成果の向上と卒業生同士の横のつながりを目的として、卒業生188名を対象に「令和安全の鬼卒業生フォローアップ研修」を計15回企画して参ります。

◇職長、工事責任者クラスへの安全衛生教育

2026年についても、直近の災害内容を踏まえ、職長、工事責任者クラスへの安全教育として、リスクマネジメントのレベルアップを目標に、教育を企画実行してゆく計画です。

◇二次以降協力会社安全教育（ミニマムスタンダード安全教育）

二次以降協力会社をもつ元請会社代表21社において、協力会社へのミニマムスタンダード安全教育の実施状況について報告書の提出を受け、この実績に基づいて所代表（労働・購買部、安全環境防災部）と、年7社ずつ（3年毎）の計画で対話頂きます。



安全衛生委員会
二見委員長

(3) 会員各社間の連携強化および地域社会活動への貢献他

・会報「八協会だより」を発行し、九州製鉄所八幡地区の方針や当会活動状況のご報告・ご案内、会員各社のご紹介などを掲載し、八協会会員各社ご要望に応じて参ります。
・皿倉健康登山など会員各社が気軽に参加できる親睦行事等の企画運営を図って参ります。
・例年同様「まつり起業祭」への協賛をして参る予定です。
・日本製鉄九州八幡ラグビー部、日本製鉄九州野球部、SVリーグ（北九州開催）「堺ブレイザーズ」を引続き応援していきます。

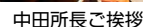
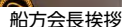
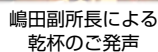
九州製鉄所
中田所長

動していただけるものをものづくりとしてお届けする、という使命があります。この時に、じゃあいいものものだけを作ればよいとか、何か技術を開発だけやればよいとか、そういうことではなく、サッカーもそうですけども、必ず攻めと守りをバランスよくやっていたらいけない。これが我々の仕事だと思っています。これ、スポーツだろうが、何だろうが多分一緒だと思っています。当然ながら守りというのは、安全、環境防災をしっかりとやり、コンプライア

一方で、当然ながら攻めも同じだけやっつけていかなければいけないと思っています。先月の終わりにあります当社株主総会の質問に対して、弊社のCEOが答えておりますが、当然国内は人口が減るので、国内生産量、需要は下がっていつまいます。もう少子化はほぼ確定で、需要が増えることはまずないです、大人口比例なので。その中で、じゃあシュリンクしていくのですか、縮小していくのですかといえば、そうではなく、我々は海外に打って出してい

やはり高い目標を常に目指していかなければ、日々の生活はきついのではないか。で、やっぱり国内投資を抑えないといけないし、コストも下げなければいけないし、まあ正直厳しいです。経営的には5兆円以上の借金あるのだから、返さないといけないし、しっかり稼がないといけない。だからそれほど、じゃぶじゃぶお金を使えるわけではなく、ギリギリとやつていかなければ

4月に電気炉のプロジェクトの起工式をし、まさに今動き始めています。当然、これは必ず100%うまくいくなんてことはなく、開発も合わせてやっているわけですから、チャレンジングな取り組みです。6、000億のチャレンジングな取り組みです。これをぜひとも皆さんと成功していくためには、当然そのプロセスも大事ですけれども、その後の生産構造を考えると、大分と八幡が一体化しなければ絶対うまくいかないし、いろんなものを変えていかないとうまくいかない。今まで通りでは絶対うまくいきませんので、この3年間でぜひとも皆さんと、プロセスを変えるだけではなく、それに伴ってオール九州で仕事を変えていかなければ、全体として成り立たないのだから、ぜひとも、皆様方におかれましては、我々の思いをご理解いただいて、ぜひとも前向きにご支援、それからサポートをいただけますようよろしくお願いいたします。ちょっと二方的な私をお願いを喋ってしまいましたが、ぜひとも、これからうまくやるためにも、まずは仕事の7割8割は人間関係だと思っていますので、今日、この発言を聞いて、ぜひとも皆様方のご意見、意見交換をさせてもらいながら、次の九州製鉄所を語っていただきたいと思います。よろしくお願いします。以上です、ご安全に。



5

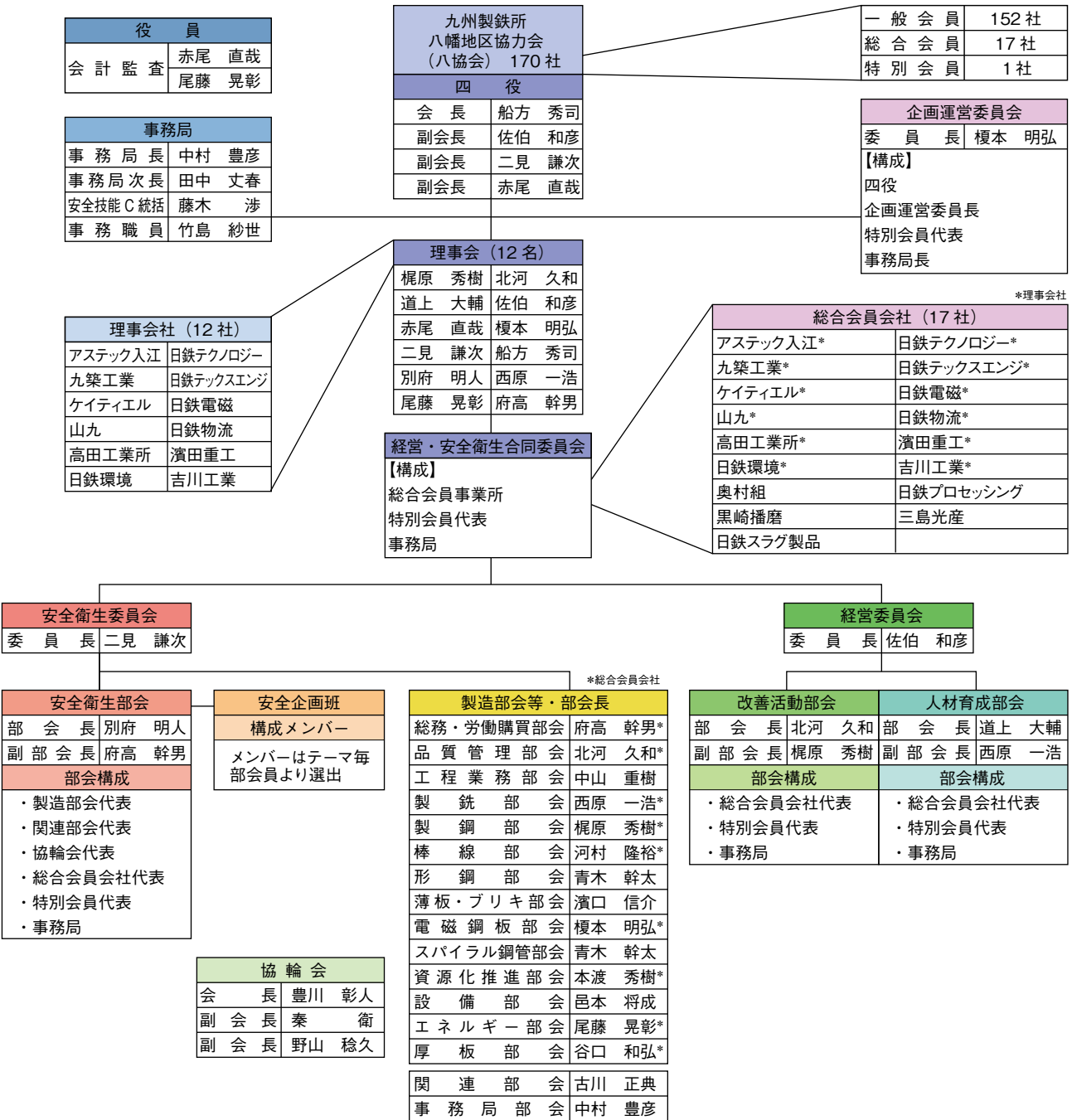
役員一覧表

2026年 4 月 1 日 現在

役 職	氏 名	職 務	所 属 会 社 ・ 役 職
理 事	船 方 秀 司	会長	日鉄物流(株) 常務執行役員九州支店長
理 事	佐 伯 和 彦	副会長、経営委員会委員長	日鉄テックスエンジニア(株) 執行役員八幡支店長
理 事	二 見 謙 次	副会長、安全衛生環境防災委員会委員長	山九(株) 八幡支店長
理 事	赤 尾 直 哉	副会長、会計監査	(株)ケイティエル 代表取締役社長
理 事	榎 本 明 弘	企画運営委員会委員長、電磁鋼板部会会長	日鉄電磁(株) 取締役九州工場長
理 事	尾 藤 晃 彰	会計監査、エネルギー部会会長	日鉄環境(株) 取締役 常務執行役員九州支店長
理 事	梶 原 秀 樹	改善活動部会副会長、製鋼部会会長	(株)アステック入江 上席執行役員 八幡・光支店長
理 事	道 上 大 輔	人材育成部会会長	九築工業(株) 取締役八幡支店長
理 事	別 府 明 人	安全衛生部会会長	(株)高田工業所 執行役員 八幡支社長
理 事	北 河 久 和	改善活動部会会長、品質管理部会会長	日鉄テクノロジー(株) 常務執行役員九州事業所長
理 事	西 原 一 浩	人材育成部会副会長、製鉄部会会長	濱田重工(株) 常務執行役員 九州エリア長 八幡支店長
理 事	府 高 幹 男	安全衛生部会副会長、総務・労働購買部会会長	吉川工業(株) 鉄鋼事業部 八幡支店長

九州製鉄所 八幡地区協力会 八協会組織構成

2026年 7 月 1 日 現在



九州製鉄所 八幡地区協力会（八協会）会員事業所一覧表

2026年 6 月 10日 現在

総合会員 17社

会員No.	会 員 名	会員No.	会 員 名	会員No.	会 員 名
A02	(株)アステック入江 八幡支店	D13	(株)高田工業所八幡支社	E16	日鉄電磁(株)九州工場
A16	(株)奥村組 九州支店	E09	日鉄環境(株)九州支店	E20	日鉄物流(株)九州支店
B17	九築工業(株)八幡支店	E12	日鉄スラグ製品(株)九州事業所	F07	濱田重工(株)八幡支店
B21	黒崎播磨(株)ファース事業本部 九州・山口事業所	E13	日鉄プロセッシング(株)小倉工場	G05	三島光産(株)
B23	(株)ケイティエル	E14	日鉄テクノロジー(株)九州事業所	H07	吉川工業(株)八幡支店
C03	山九(株)八幡支店	E15	日鉄テックスエンジ(株)八幡支店		

一般会員 152社

会員No.	会 員 名	会員No.	会 員 名	会員No.	会 員 名
A01	旭興産(株)九州事業所	C14	進和テック(株)九州支店	E22	日鉄ロールズ(株)
A03	アズビル(株)九州支社	C15	住友電設(株)八幡工事事務所	E23	日本エスエム(株)日本製鉄関連事業所
A04	東海運(株)八幡営業所	C17	(株)スガテック プラント事業部	E24	(一社)日本海事検定協会 九州第一事業所
A05	アタカ(株)	C18	(株)菅原 北九州営業所	E25	(一社)日本貨物検数協会 八幡事務所
A06	(株)アダチ	C19	(株)スピナ	E26	日本乾溜工業(株)
A07	(株)安藤・間 若松作業所	C20	住友商事九州(株)北九州支店	E27	日本金属(株)北九州営業所
A08	石川金属工業(株)八幡支店	C21	清新産業(株)	E28	日進機工(株)
A09	(株)伊藤油化工業所	C22	製鉄曳船(株)	E29	日本工装(株)CSC九州
A10	(株)エムテック 戸畑事業所	C24	(有)製鉄酸素配給センター	E30	日本重化学工業(株)八幡営業所
A11	MI万世ステンレス(株)八幡工場	C26	(株)綜合テクノ	E31	日本磁力選鉱(株)
A12	日鉄物産ワイヤ&ウェルディング(株)	C27	(株)ソルネット	E32	日本スピング(株)小倉営業所
A13	大石塗装(株)	D01	太平運輸(株)	E33	ノリタケ(株)北九州営業所
A14	(株)大林組 北九州営業所	D02	大光炉材(株)	E34	(株)直方建機 飛幡営業所
B01	鹿島建設(株)九州支店	D03	太平商事(株)	F01	(株)パソナ パソナ・小倉
B02	梶原塗装(株)	D04	太平電業(株)日本製鉄戸畑事業所	F04	幡和工業(株)
B03	片山ナルコ(株)北九州営業所	D05	第一高周波工業(株)西田工場	F05	八祥産業(株)
B04	(株)花組	D06	大榮(株)戸畑事業所	F08	(株)浜地塗装工業
B05	(株)上組 八幡支店	D07	ダイキ工業(株)	F09	平松運輸(株)
B06	環境開発興業(株)	D08	(株)ダイキンアプライドシステムズ北九州営業所	F10	(有)フォスベル・アジア・リミテッド
B07	北九州エル・エヌ・ジー(株)	D09	(株)大創	F11	富士岐工業(株)北九州工場
B09	北九州クレーン協会	D10	(株)大東	F12	(株)富士交易 九州支店 八幡営業所
B10	キャタピラー九州(株)北九州支店	D11	大力産業(株)小倉事業所	F13	(株)フジコー 北九州オールテック部
B11	(一財)九州健康総合センター	D12	大和製罐(株)新戸畑工場	F14	(株)フジタ 九州支店
B12	喜楽鉱業(株)北九州工場	D14	中央塗装(株)	F15	藤田商事(株)
B13	九州ゴム製品販売(株)	D15	中外炉工業(株)	F16	不動鋼板工業(株)
B14	九州製紙(株) 北九州工場	D16	津山興産(株)戸畑事業所	F17	豊誠工業(株)
B15	九州美装(株)	D17	鶴丸海運(株)	G01	(株)松尾設計
B16	九州冷熱(株)	D18	出口産業(株)北九州営業所	G02	松田産業(株)
B18	共和技研(株)福岡出張所	D19	中央工機産業(株)北九州営業所	G03	丸栄産業(株)戸畑出張所
B19	くろがね工業(株)	D20	(株)テツゲン 九州支店 八幡事業所	G04	帝産業(株)
B20	(株)黒木工業所鞍手工場	D21	東亜非破壊検査(株)北九州営業所	G06	三井物産(株)ジェソリューション(株)西日本支社 北九州連絡事務所
B22	九州運輸建設(株)輸送事業所	D22	東興ジオテック(株)北九州営業所	G07	ミドリ安全北九州(株)
B24	(株)ケイハン戸畑工場	D23	東南貿易(株)八幡営業所	G08	(株)峰製作所 八幡支店
B25	玄海産業(株)	D24	東洋シャッター(株)北九州営業所	G09	ミンテックジャパン(株)大阪営業所
B26	高圧ガス工業(株)北九州営業所	D25	東洋精工(株)	G10	(株)守谷商会北九州営業所
B27	鴻池運輸(株)エンジニアリング 支店	D26	(株)東洋ビルド	G11	(株)ミック九州
B28	(株)鴻池組 九州支店	D27	九州共同発電(株)戸畑共同発電所	G12	前田環境(株)若松事業所
B29	光洋金属工業(株)	D28	富安(株)北九州事業所	H02	八幡通船運輸(株)
B30	光和精鉱(株)	D29	洞海産業(株)	H03	八幡生コン工業(株)
B31	エネクスフリード(株)産業エネルギー部	D30	洞海電池電業(株)	H04	八幡板金工業(株)
C01	西部ガス(株)北九州供給部	E02	(株)西日本開発工業	H05	山口合同ガス(株)下関支店供給部
C02	三栄工業(株)	E03	(株)西日本サニタリーセンター	H06	(株)山本工作所
C04	産機エンジニアリング株式会社 北九州事業所	E04	西日本プラント工業(株)戸畑事業所	H08	(株)吉村太陽商会
C05	(株)SANWA	E06	日新興業(株)八幡支店	H09	(株)九州サンソセンター 八幡工場
C06	シグノード(株)北九州システムセンター	E07	日新電機工作(株)小倉営業所	J01	リードテック(株)
C07	(株)志道工務店	E08	日鐵空調(株)	J02	ロザイ工業(株)九州工場
C08	(株)志磨テック	E10	日鉄建材(株)戸畑工場	K01	(株)ワシダ 北九州支店
C09	新川電機(株)北九州支店	E11	日鉄高炉セメント(株)	K02	若築建設(株)北九州営業所
C10	日鉄エンジニアリング(株)北九州技術センター	E17	日鉄ハードフェイシング(株)九州製造所		
C11	日鉄ソリューションズ(株)八幡システムセンター	E18	日鉄ビジネスサービス(株)九州事業所		
C12	新日本熱学(株)戸畑事業所	E19	日鉄保険サービス(株) 八幡支店	通常会員:169社(総合会員17社・一般会員152社)	
C13	新日本非破壊検査(株)戸畑出張所	E21	日鉄防食(株)	特別会員:九州製鉄所 八幡地区	

第99回八協会【QJK発表大会】開催

～発表サークルの紹介～

2026年7月24日 対面集合にて開催し、今回もWEB(Teams)で同時配信。会場は総合センターマルチホールにて、多くの方々にご聴講いただきました。また招待発表として、トヨタ自動車九州(株)環境プラント部 PE 室 野田様に未然防止型「排水処理場監視体制強化による異常水流出未然防止」と題し、発表いただき、大変盛況で大会を終えることができました。大会特別賞は日鉄環境(株)分析サークルが受賞しております。

日鉄テクノロジー(株) レインボーサークル



発表者



高瀬 航也さん

初めて八協会のQJK発表大会に参加させていただきました。実務を知らない方にも理解していただけるよう、資料のまとめ方や発表の仕方など多くの苦労がありましたが、たくさんの方の支援やアドバイスをいただきながら無事に発表を終えることができました。今回学んだことを活かし、今後のQJK活動につなげていきたいと思いをします。

日鉄環境(株) 分析サークル



発表者



藤谷 翼さん

初めての会場参加でとても緊張しましたが、多くの方々のご指導、ご支援により無事終えることができました。我々が従事する分析はなかなか馴染みがないため、発表内容をいかにわかりやすくするかを心がけ資料作成を行ってきましたので、特別賞をいただけたことを大変光栄に思います。今後もより良い活動ができるよう積極的に取り組んでいきます。



大会特別賞

九築工業(株) あすなろサークル



発表者



山内 浩さん

今回、初めて八協会のQJK発表大会に参加させて頂きました。テーマ完結に向けて試行錯誤しながらの活動でしたが上司、サークルメンバーの協力で発表の場に立つことができました。発表会では他社サークルの改善内容、発表方法など大変参考になり良い刺激を頂きました。後の活動でも今回の経験を生かして当たり前を当たり前と思わず改善活動に取り組んでいきたいと思いをします。

濱田重工(株) バイオニアサークル



発表者



神崎 陽介さん

八協会QJK発表大会に参加し、他社の優れた改善事例や手法に触れ、多くの学びと刺激を得ることができました。また、自部署の取り組みを振り返る、良い機会となり課題も明確になりました。今後は、今回の経験を活かし職場改善に向けチーム全員で知恵を出し合い、品質向上や業務効率化を目指し取り組んでいきます。

大会総括及び講評

開会あいさつ

御来賓あいさつ



北河改善活動副部長



佐伯 経営委員長



生産技術室 越川室長

大会風景

司会者 大変おつかれさまでした

吉川工業(株) 金光さん

日鉄スラグ製品(株) 長岡さん

発表賞表彰：船方八協会会長



山九(株) GTOサークル



発表者



大角 空ノ輔さん 口元 芽美さん

初の社外発表となる今回の大会は他社サークルの活動も聞くことができ、大変勉強になりました。私たちのサークルは10代・20代のメンバーのみで構成されており、管理者に頼るだけでなく若手自ら考え取り組んだ改善活動を評価していただいたことを励みに、今後もより良い職場づくりの為に活動を続けていきたいと思いをします。

招待発表

トヨタ自動車九州 環境プラント部 PE 室

野田 浩平 様

テーマ

『排水処理場監視体制強化による異常水流出未然防止』



会場風景



2026年度 改善活動部会の活動計画

九州製鉄所 八幡地区 QJK 活動 2026 年度スローガン「高めよう団結力！ 発揮しよう総合力！ 新たな挑戦 QJK」および基本方針 ①対話とプロセスを大切にし、一人ひとりの力を結集しよう！ ②明るく楽しく、前向きに！ 目標に向かって一歩いっぽ前進しよう！ のもと、研修参加者の声に耳を傾け、部会員の工夫・努力を通じ「自ら学び行動する人材」を育成するとともに、QJK 活動の活性化の為に支援を推進して参ります。

2025年度活動実績

3月	2月	2026年 1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	2025年 4月
	・手法研修 ・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅲ期3班	・手法研修 ・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅲ期2班	・第98回QJK発表大会 （ハイブリッド開催）	・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅲ期1班	・支援者研修	・手法研修	・トレーナー研修Ⅰ期	・手法研修	・未だ防止型研修	・手法研修	・手法研修 *各研修は対面集合で実施

九州製鉄所スローガン「高めよう団結力！ 発揮しよう総合力！ 新たな挑戦 QJK」の下でQJK活動を支援するための研修及びQJK大会の開催に向けた活動を行いました。2025年度は各研修内容をパソコンを活用した実情にあったものに改善し、受講者から高い評価を得ております。

QJK事務局が進めるスリーピングサークル「ゼロ」の目標を17年連続で達成することができました。業務多忙の中、会員各社においてQJK活動を維持頂いたことを厚く御礼申し上げます。

各研修風景

各JJK研修を対面集合で開催。研修内容もPCを活用し、より実践的な内容に改善しており、受講者からも高い評価を受けております。

JK支援者研修 (2025年10月29日)



開講挨拶 北河部会長

JK基本と実践研修 (2025年11/13-14日、2026年1/15-16日、2/19-20日)



みなさんの
トレーナーの

年間優秀サークル表彰

年間最優秀サークル
日鉄物流(株)九州支店 J-BOYサークル

年間優秀賞
日鉄物流(株) ステップアップサークル
日鉄重工(株) パイオニアサークル

年間優良賞
(株)アステック入江 プレンディーサークル
山九(株) 電音サークル
日鉄テクノロジ(株) サンプラーサークル
日鉄電磁(株) 1・2スリッドサークル
吉川工業(株) V-8サークル

年間奨励賞
九業工業(株) あすなろサークル
黒崎播磨(株) ポケットサークル
(株)クイティエル 逆境クレイメンサークル
日鉄スラグ製品(株) SKSサークル
日鉄プロセッシング(株) HOTOサークル
三島光産(株) G-ワンサークル



受賞サークルのみなさん

日鉄物流(株) J-BOYサークルの皆さん



この度は5年連続で年間最優秀サークル賞を受賞させて頂いたことを大変光栄に思っています。連続での受賞は名誉であると同時にプレッシャーでもありましたが、サークル員全員の情熱と協力、皆様の支援のおかげで乗り越える事が出来ました。これを励みに今後も慢心することなく、若年層とベテランが一致団結し、JK活動を通して安全でより良い職場を構築するため精進して参ります。

特別表彰 年間最優秀5年連続受賞

新部会員紹介



日鉄物流(株)
東島 部会員



吉川工業(株)
杉 部会員

今年度より改善活動部会に参加させて頂いたことになりました。研修などを通じて、微力ではありますが、が、部会活動に貢献できるような力をつけていきますので、よろしくお願いいたします。

ご安全に。4月から八協会人材育成部会でお世話になります。吉川工業 杉です。至らない点が多いかと思いますが頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

2026年度活動方針

重点実施事項

研修関連活動（研修の開催及び研修内容の見直し）を通して、部会主催の研修の充実を図ります。

さらに大協会とのJJK活動発表大会および研修へ人員を相互派遣し連携の強化を進めます。

そして、九州製鉄所QJK活動に対して引き続き協力会社としての協力を進めます。

①部会活動の活性化

（一）研修メニューの充実
・研修生の技能レベルに応じた、階層別研修内容の検討
・アウトソーシングも含めたレベルアップ

（二）大協会との連携強化
・できることから良い活動事例の横展開

②スリーピングサークル「ゼロ」の継続

・18年連続達成への挑戦
・九州製鉄所QJK大会の運営
・支援及びサークル派遣
・八協会QJK発表大会への関係者招待

③九州製鉄所QJK活動への協力

・九州製鉄所QJK大会の運営
・支援及びサークル派遣
・八協会QJK発表大会への関係者招待

3月	2月	2026年 1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	2026年 4月
	・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅲ期3班 ・手法研修	・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅲ期2班 ・第99回QJK発表大会 （ハイブリッド開催）	・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅲ期1班 ・第100回QJK発表大会 （ハイブリッド開催）	・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅱ期	・基本と実践 ・トレーナー研修Ⅰ期	・支援者研修 ・トレーナー研修Ⅰ期	・未だ防止型研修	・手法研修 ・第99回QJK発表大会 （ハイブリッド開催）	・手法研修	・大協会JJK100回大会 ・手法研修	・手法研修

2026年度人材育成部会の活動紹介

人材育成部会の活動も今年で17年目を迎えます。今年度は年間通して計画的に研修を実施します。

また、研修生、部会員のアンケートによる研修内容の精査を行い、研修カリキュラムのレベルアップを図り、受講者の皆様の為になる研修を目指してまいります。

ご理解の上さらなるご支援、ご協力をお願い致します。

研修講座	スケジュール												研修方法	備考
	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月		
新入社員研修										● 1/14	● 2/13		対面集合開催	118名参加
若手社員研修					● 8/7-8		● 10/16-17						対面集合開催	56名参加
中堅社員研修								● 11/5-6 ● 11/26-27					対面集合開催	60名参加
職長・作業長研修		● 5/15-16											対面集合開催	20名参加
管理者研修			● 6/26-27										対面集合開催	19名参加
テーマ別研修	●健康 5/28	●環境 6/23	●防災 7/28	●安全 8/27	●取引 9/18								対面集合開催 WEB開催	対面 152名 アクセス数 698件
合同採用説明会	● 5/30												対面集合開催	企業数 :21社 参加高校:37校

2025年度の部会活動は、各研修を通常カリキュラムで開催することができ、受講者からも大変好評でした。
また近年部会員の入れ替わりが激しく研修の進行が心配されましたが、研修内容を具体的にマニュアル化することにより、スムーズに進行できたと共に部会員のレベルアップにもつながりました。
今後も各研修をより充実させていきますので、皆様のご協力をお願い致します。

2025年度活動実績

新入社員研修 1回目 2026年 1月14日
2回目 2026年 2月13日

受講者のみなさん



受講様子



八幡旧本事務所見学及び工場見学を実施しました。

管理者研修 (2026年6月15日・16日)

管理者研修 受講風景



講話 嶋田 副所長



通常カリキュラムで対面にて実施。嶋田副所長からご講演いただきました。



管理者研修 交流会

発表会講師 池田 労働購買部長

各研修風景



トピックス
パートナー会社
合同採用説明会
2026年5月22日
小倉A1Mにて開催。
参加企業23社、参加校
37校にご参加頂き、盛
況に終わりました。

受付風景



開会挨拶



ブース説明



意見交換会

川口 協力会社連携室長
ごあいさつ



池田 労働購買部長
ごあいさつ



2026年7月1日付で人材育成部会となり、研修を通じて皆様のスキルアップのサポートをしながら自身のスキルアップにも繋げ、少しでも活動促進のお力になればと思います。宜しくお願い致します。



楠アステック入江 合六 部会員



日鉄物流 榑 久保 部会員

本年4月より、八協会人材育成部会の担当となりました。研修等の業務に携わること、初めての経験ですが、微力ながらも少しくお役に立てるよう、に精進してまいりますので、よろしくお願い致します。

ご安全に！2026年1月1日付で八協会人材育成部会となり、太田部長です。部会員の皆様と連携を深め、八協会を益々盛り上げていくよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します！



日鉄テクノロジー 榑 太郎 部会員



三島光産 榑 岡崎 部会員

4月より前任の後任として担当させて頂きました。三島光産(株)の岡崎です。次世代の育成・成長に貢献できるような活動していきますので、よろしくお願い致します。

新部会員紹介

【2026年度計画】

研修講座名	対象者	開催回数／年	研修時間	開催月	予定人数／回
新入社員研修	入社1～2年	2回/年	1日	2027.1月・2月	70
若手社員研修	5年前後	2回/年	2日	8月10月	30
中堅社員研修	10年前後	2回/年	2日	11月	30
職長・作業長研修	当該職位	1回/年	2日	5月	25
管理者研修	管理者	1回/年	2日	6月	25
年間研修予定人数 約344名 *今年度は通常開催					
テーマ別研修	テーマに応じて	5回/年	約1時間	6月～9月	約180アクセス/回
*今年度は多くの方へご視聴いただくためにWEBで開催いたします。					



榑高田工業所 榑 部会員

2026年6月1日付で(株)高田工業所八幡支社に異動して参りました。研修会の運営等を通じて皆様のお役に立てるよう尽力致します。今後とも宜しくお願い致します。

「令和安全の鬼卒業生フォローアップ研修」 ～安全文化の継続と現場力強化を目指して～

背景と目的

2021年7月にスタートした「令和安全の鬼教育」は、2025年2月の第15回をもって一旦終了し、これまでに188名の「鬼」を育成しました。教育成果の定着と安全意識の継続向上を目的に、2025年6月から「卒業生フォローアップ研修」を開始し、卒業生同士のネットワーク強化と現場安全文化のさらなる醸成を目指しています

実施状況（網掛け部は終了）

第1回	2025/ 6 /18
第2回	2025/ 7 /23
第3回	2025/ 9 /17
第4回	2025/10/15
第5回	2025/11/19
第6回	2026/ 2 /26
第7回	2026/ 3 /25
第8回	2026/ 6 /18
第9回	2026/ 7 /23
第10回	2026/ 9 /17
第11回	2026/10/22
第12回	2026/11/26

受講数

11人
9人
14人
13人
14人
11人
10人
13人
10人
10人
10人
10人

カリキュラム（1日コース）

時 間	内 容
09:00～09:30	オリエンテーション・開会挨拶
09:30～12:00	現場確認（3事業所）
12:00～13:00	<休憩>
13:00～15:00	グループ討議（コーチャー同席） “参加者の職場における安全課題”
15:00～16:00	討議内容の発表・総括講評
17:15～19:15	交流会

会場：安全技能センター研修室及び代表職場

対象：令和安全の鬼教育卒業生 188名（在籍 177名）
より選出（定員 15名/回）

全 15 回 開催予定

まとめ

「令和安全の鬼教育」で培った安全文化を継続・発展させるため、卒業生フォローアップ研修は重要な取り組みです。今後も現場力強化と安全意識の定着を目指し、卒業生ネットワークを広げていきます。

写真ハイライト（第8回研修：2026/6/18）



夏季ゼロ災安全祈願祭

(2026年6月1日)

夏季ゼロ災活動スタートに向け、高見神社において安全祈願祭を挙行了しました。理事、特別会員代表（安全健康室／砂川室長）と安全衛生部会員及び事務局2名の48名の参列となりました。

神事の後、船方会長よりご挨拶を受け、引き続き特別会員を代表して、九州製鉄所安全健康室の砂川室長よりご挨拶を頂き、最後に工程業務部の中山部会長の安全唱和で祈願祭をお開きとしました。

以上



2026年皿倉健康登山

(2026年4月18日)

八協会行事のメインイベントである、皿倉健康登山を4月18日に実施しました。朝方の悪天候にもかかわらず、過去最高の約1600名の方々に参加頂きました。自事業所のみならず、八協会会員相互のご家族含めた親睦が多いに図られたと思います。関係者の方々のご協力もあり無事終えることができた感謝申し上げます。



熱中症予防WEB講演会

(2026年5月27日)

2026年もマルチホールでの講演会も検討されましたが、トップからボトムまでより多くの方が参加できるWEB開催を今年も実施しました。講師は前年に続き産業界の方に依頼しました。

毎年感じていることですが、熱中症に対する皆さんの関心の高さはです。

昨今の異常とも思える夏場の気温上昇において、いかに現場作業者の体調を良好に維持するか、それにはどのような手段・対策があるのか、また、熱中症に掛った場合の最良の対処法等、あらゆる情報を取り入れようとする熱意が感じ取れます。

参加事業所67社、視聴者数約587人でした。



講師：安全環境防災部 安全健康室
中西昌嗣 産業医

二〇二五年 安全衛生活動優秀職場 特 別 表 彰

総務・労働購買部

株式会社スピナ ビルサービス部 営業二課

日鉄ビジネスサービス株式会社 九州事業所（八幡）総務部

品質管理部

日鉄テクノロジ株式会社 九州事業所 試験部 戸畑試験分析課 薄板めつき試験係

工程業務部

日鉄物流株式会社 九州支店 構外物流部 構外陸運課

株式会社峰製作所 八幡支店

製鉄部

津山興産株式会社 戸畑事業所

濱田重工株式会社 八幡支店 選炭物流課

製鋼部

黒崎播磨株式会社 ファーネス事業本部 九州・山口事業所 八幡整備グループ

株式会社アステック入江 八幡支店 製鋼課

棒線部

株式会社ケイティエル 生産部 線材課

形鋼部

三栄工業株式会社 八幡工場 生産管理課 機工班

薄板・ブリキ部

日鉄物流株式会社 九州支店 戸畑物流部 構内輸送課

電磁鋼板部

日鉄電磁株式会社 九州工場 精整課 機動班職場

スパイラル鋼管部

石川金属工業株式会社 八幡支店 生産二課

資源化推進部

日進機工株式会社 戸畑事業所

設備部

日鉄環境株式会社 九州支店 水道部 整備室

山九株式会社 八幡支店 製鋼整備グループ

日鉄物流株式会社 九州支店 機工部 機械工事課

日鉄テクノエンジニア株式会社 機械事業本部 整備事業部 八幡機械整備部 圧延整備グループ

株式会社高田工業所 整備部 銑鋼エネルギー整備課

エネルギー部

株式会社花組 工事部

株式会社志道工務店 土木工事部 作業課

厚板部

三島光産株式会社 八幡事業部 ステンレス課

関連部

清新産業株式会社

九州冷熱株式会社

新任理事のご紹介

2026年7月10日通常総会にて承認



二見 謙次
ふたみ けんじ

2026年4月1日付

ご安全に。この度、八協会 副会長、安全衛生委員会委員長を拝命いたしました。九州製鉄所八幡地区では電炉プロセス転換に向け、構内各所で大規模工事が鋭意進行中です。またそれに伴い大変多くの方が新規入構されており、構内での安全作業・交通面でのルール遵守が喫緊の課題となっております。まずは八協会会員各社の皆様と共に模範となる行動・ルール遵守を徹底して参りたいと存じます。引き続き活気と行動力のある九州製鉄所八協会を目指し各種活動に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

プロフィール

- 会社・役職：山九株式会社 八幡支店長
- 職務：理事（副会長、安全衛生環境防災委員長）
- 年齢：53歳（3月生）
- 経歴：1996年4月 山九株式会社 入社
- 2014年7月 君津支店 化学グループマネージャー
- 2018年4月 君津支店 製鉄整備グループマネージャー
- 2020年4月 君津支店 機工企画調整グループマネージャー
- 2020年6月 君津支店 鹿島鉄鋼支店 支店長
- 2022年4月 大分支店 支店長
- 2026年4月 八幡支店 支店長



佐伯 和彦
さえき かずひこ

2026年4月1日付

皆さんご安全に！
この度八協会理事及び経営委員長を拝命しました日鉄テックスエンジの佐伯です。
1901年に日本初の銑鋼一貫製鉄所として発足した九州製鉄所八幡地区において、大きな変化点である電炉プロセス転換工事が開始されました。このプロジェクトの円滑な推進には、日本製鉄様のご指導の元、我々協力会社の連携強化がより一層重要となってきます。合わせて大分地区及び大協会との連携も益々重要となってきます。微力ではありますが、所及び八協会の発展に向け取り組んで行く所です。ご支援・ご協力を何卒よろしくお願い致します。

プロフィール

- 会社・役職：日鉄テックスエンジン株式会社 八幡支店長
- 職務：理事（副会長、経営委員長）
- 年齢：62歳（12月生）
- 経歴：1989年4月 新日本製鐵株式会社入社
- 1989年6月 八幡製鐵所 設備部電気計装技術室 配属
- 1995年11月 八幡製鐵所 条鋼工場条鋼技術・管理室掛長
- 2003年1月 技術総括部施設グループ マネージャー
- 2006年2月 君津製鐵所 条鋼工場大形グループ マネージャー
- 2007年6月 君津製鐵所 条鋼工場大形グループリーダー
- 2010年4月 建材事業部堺製鐵所 形鋼部生産・設備技術グループリーダー
- 2011年4月 八幡製鐵所 形鋼部長
- 2014年4月 和歌山製鐵所 形鋼部 上席主幹
- 2019年1月 日鉄テックスエンジン株式会社入社
- 電計事業本部エンジニアリング事業部電計エンジン2部部長
- 2021年4月 八幡支店副支店長、八幡電計センター長兼務
- 2024年4月 電計事業本部エンジニアリング事業部長
- 2026年4月 八幡支店長

各社トピックス紹介

山九(株) 八幡支店

◆熱中症対策に配慮した 難燃・耐切創作業服を導入

山九(株)八幡支店では、暑熱環境下での安全確保と熱中症対策の環として、難燃性アクリル系繊維とコットンを組み合わせた難燃・耐切創仕様の作業服を導入しました。この作業服は、火気作業時の安全性に配慮した難燃性能と、グライNDER作業での切創リスク低減を両立した仕様です。導入にあたっては、日本製鉄(株)環境防災室による燃焼試験を実施し、構内火気作業での着用承認を取得しました。従来品より軽量で動きやすく、汗で肌張り付きにくいことから作業者にも好評です。今後も安全性と快適性を両立した職場づくりを推進し、熱中症予防に取り組んでまいります。



各社トピックス紹介

日鉄物流(株) 九州支店

◆フェリーバージ船によるエリア間輸送を開始

2020年の小倉高炉休止以降、戸畑エリアで製造した棒線ブルームは、八幡エリアを経由し、はしけ船で小倉エリアへ輸送していました。

しかし、従来の輸送方式では、出発地と到着地の双方で岸壁タレーンによる荷役が必要となり、作業効率の向上や要員の確保が課題となっていました。

この課題を解決するため、車両が自走して乗り降りできるRORO方式のフェリーバージ船を導入。105トンCP車を船上へ直接乗り入れ、戸畑から小倉へ直送することで、八幡エリアを経由する「の」の字輸送を解消しました。これにより、輸送ルート短縮に加え、荷役作業の効率化と省力化を実現しています。

2025年12月に運航を開始し、現在は安全・安定輸送を最優先に運用しています。今後も、さらなる物流効率化に取り組んでまいります。

フェリーバージ船 八翔



(株)高田工業所 八幡支社

◆2026年新入社員を歓迎

6月20日(土)、バーベキュー場八幡村にて、毎年恒例の新入社員歓迎会B.B.Q.を開催しました。当日は新入社員をはじめ、多くの社員が参加し、美味しい料理を囲みながら交流を深めました。新入社員による自己紹介コーナーでは、それぞれの個性や抱負が披露され、会場は温かい雰囲気になりました。また、景品が当たる福引コーナーも大変盛り上がり、笑顔と歓声の絶えないひとときとなりました。参加者は大いに食べ、大いに飲み(未成年者はジュースで乾杯)、親睦を深める機会となりました。今後もこうした交流の場を大切にし、よりよい職場づくりに繋げていきたいと思っております。



三栄工業(株) 本社工場

◆事務所棟・厚生棟の改修工事了!

1947年3月の創立後、関係皆様のご支援ご厚情により、今年で79年を迎えることとなりました。

本社工場(戸畑区牧山海岸4番8号)は、1981年8月に戸畑新工業団地へ新設後移転しております。

このたび、老朽化が進む事務所棟・厚生棟の改修工事に着手し今年の7月末に完了しました。

改修工事一例として、折板屋根を2重構造(既設の折板を残し新規に折板を施工)とし、空気層を設ける事により、熱ごもりと室内への熱の進入を軽減しております。

また、窓ガラスは2重サッシへ変更及び外壁塗装(膜厚をあげる)により、室内温度の低下を実現しエアコンを適切な温度に設定で、温室効果ガス排出量の削減(CO₂)にもつながります。

今後も、安全・環境・防災を最優先に、全社員一丸となり、エコアクション21の環境経営方針を守り、地域環境美化と環境意識の構築に努めてまいります。



日鉄テックスエンジニア(株)八幡支店

◆八幡労働組合

メーデーイベント開催

2026年4月29日(水:祝)に日鉄テックスエンジニア八幡東区事務所駐車場にて「八幡労働組合メーデーイベント」を開催しました。本イベントは例年、北九州メーデーの同日午後より開催しており組合員とその家族向けの恒例行事となっています。毎年、イベントには、八幡支店長の佐伯支店長をはじめ支店幹部の方々もご臨席頂きました。

イベントの内容としてはバーベキュー、お子様向けじゃんけん大会、抽選会となっています。お子様向けの遊具として、駐車場敷地内は「ふわふわ遊具」の設置や組合役員にて「お子様向けミニゲーム」を設置し、当日は大変盛り上がりしました。

本イベントを通じて組合員同士の横の繋がりを強化し、気軽に相談できる風通しの良い職場作りに寄与したいという思いから企画したものであり、バーベキューを食卓にラックスした雰囲気のなか、組合員同士で語り合うの姿も見られ、社員同士の交流と一体感を感じられるイベントとなりました。本イベントはまた来年以降も継続して実施したいと思っております。



吉川工業(株)

◆オリンピックをお迎えし柔道イベント開催

二月二十八日、桃園武道場にて吉川工業主催の柔道イベントを開催しました。全日本柔道連盟の協賛のもと、アテネ・北京オリンピック二大会連続金メダリストの谷本歩実氏を特別講師に迎え、午前は八幡東警察署と連携した「楽しく学べる!こども安全教室」、午後は「柔道教室」の二部制で実施しました。地域の小学生とその保護者を含む約二百四十名が参加しました。受け身や一本背負い投げなどを楽しく学びました。企画・運営を柔道部が担い、初めて柔道に触れる子どもたちも含め、畳の上で笑顔あふれる有意義な時間となりました。今後も地域との交流を大切にまいります。

